

まえがき

一 吉川洋先生教育講演会と研究会および迎え受ける山大経済陣について

山口大学大学院東アジア研究科 教授 浜 島 清 史

HAMASHIMA Kiyoshi

本特集は2023年11月17日（金）に催された、吉川洋氏による山口大学経済学教育講演会ならびに同研究会ⅠⅡの講演録ならびに関連する報告資料・研究ノート等である。吉川洋先生に関する紹介は、教育講演内ですぐ有村貞則経済学部長がしているし、研究会Ⅰの冒頭でも吉川洋氏自らが当時の研究背景から浮かび上がらせて自己紹介をされている。そこで前置きはそこそこに早速、教育講演会に入っていこう。あとがきでは、本講演会に至った経緯、司会進行の企図、期待される成果などについて論じよう。

ただ一言、これは学部生にも本教育講演会前に司会進行（浜島）が授業で紹介してきたこと、経済学部への申請書に認したためてきたことである

が、ノーベル経済学賞を取るような現在の最先端の経済学では新古典派「マクロ経済学のミクロ的基礎付け」と言われる議論を中心に展開してきた。経済学を学ぶ者、経済学徒としてその一端に触れることは意義のあることであろう。本講演会は「日本経済の現状と課題」という極めて的を射たテーマと内容になっているが、その奥深いところで新古典派への批判的洞察も含まれていることに気づくかもしれないし、更に関心を持った学生の皆さんは「研究会ⅠⅡ」の講演・報告書・研究ノートまで進んでもらいたい。もちろん関連する参考文献も含めて。なおこの教育講演会は、山口大学経済学部同窓会、鳳陽会の助成を受けている。記して謝意を示す。